FinePlay!!

豊中市立第五中学校
第３学年６５期　No.25
2018年10月19日(金)

2学期中間考査講評

　中学最後の中間考査はどうでしたか。二者懇談後の実施ということもあり、皆さんのテストに対する意気込みがさらに強くなったのではないでしょうか。これから一つひとつのテストが、これまで以上に重要になります。気を緩めずに頑張っていきましょう。また、私立入試まであと数ヶ月です。ゴールをしっかりとみすえて、今やるべきことは何か？と常に自問自答しながら準備していきましょう。

教科	各教科担当からのコメント
国語	授業の内容をしっかり聞いていた人は頑張りが点数に表れていました。プリントの整理、授業中のメモ、日々の積み重ねができていない人は、遅いぐらいですが、今からでも始めていきましょう。今回のテストは、１学期の最後からの銃魚王の理解度です。点数がたかいからといって、国語の力がついているわけではありません。日ごろ言っていますが、暗記は国語の力ではありませんよ。ある程度の暗記は必要ですが、「理解」をしなければ、これからの試験では役に立たないことをいい加減分かりましょう。３週間後には実力テストがあります。暗記に頼るのではなく、これまでに勉強したことを生かして臨んでください。
数学	今回はテストでは普段の授業の取り組み方の違い、家庭で復習を日ごろからコツコツやっている人との差があったように感じました。また、２次方程式の解法は３年生における計算の総まとめであり、展開、因数分解そして平方根が習得できていない難しいところです。今回、計算で十分な得点が得られなかった人は今が復習する最後のタイミングになるかもしれません。ここでしっかり踏ん張ってほしいと思います。 2～4は今回の範囲の知識理解度を測る問題、6と8～13は数学的な見方や考え方の出来具合を測る問題、他は数学的技能の習得度を測る問題でした。 提出された問題集を見ても努力している人は多いと感じました。数学の勉強方法で特効薬は残念ながらありません。とにかく、粘り強く取り組み続けること、自分の課題を把握すること、わからないことを放置しないことが大切です。

理科	大問１～３化学分野（電池のしくみ・酸アルカリ）大問４～８物理分野（力のつり合い・運動）大問９　２ 年生の復習から出題しました。大問１～３に関しては、１ 学期に学習した分野もあったので、忘れている人や理解しきれていない人が多くいたように感じました。大問 ４～８では、計算の苦手な人が、苦しんでいました。しかし、大問６に関しては、計算自体はすごくシンプルですし、授業でも時間をかけておこなったところなので、点数に結び付けてもらいたかったです。大問９は問題集からほぼそのまま出題しています。学習すればそのまま点数につながりますよ。しっかり頑張ってください。
社会	歴史は第二次世界大戦～現代までの出題でした。基本語句を中心に満州事変から日本の戦時体制の流れを理解することがポイントだったと思います。テスト前に配布した一問一答からも多く出題したので、しっかりとやりこんでいた人は点数につながったと思います。 公民はどんな問題が出るか、わからないなどの声もよく聞こえますが、基本語句をおさえながら、どんな権利を認められているのかを理解する必要があります。わかっている問題を、いかに取りこぼさないかも大切になってくると思います。 次は実力テストがんばってください。
英語	テスト返却の授業で皆さんにお伝えすべきことはすべてお話しました。復習ということでここに記させてもらいます。もう一度確認しておこう。 今回の振り返りは次の３点です。 ①教科書本文を毎日音読する（テスト直前に詰め込んでやっても定着しない） ②日本語での答え方に注意する（「～ということ」「～だから」などの文末表現。 「主語抜け文」「日本語としておかしい文」に注意。国語力を磨け！） ③基本英単語の復習（１～２年の英単語、曜日、１２ヶ月、数字、序数など） 定期考査で点数につなげるには、教科書本文の復習を抜きにしては進みません。次回の期末考査で何としてでも点数を上げなければならないのであれば、今日から教科書音読＆教科書英単語暗記を実践していくことが一番の近道です。